

平成29年度

事業報告書
収支決算書



社会福祉法人 伊根町社会福祉協議会

平成 29 年度 伊根町社会福祉協議会 事業報告

総 括

社会福祉法改正に伴い定款、規約を改正し役員体制を含め社協組織の新たなスタートとなりました。また、介護保険法の改正により平成 30 年度からは本格的に日常生活支援総合事業がスタートするため、それに向けた移行期間として諸手続きを行いました。

昨年9月に起きた台風18号は、筒川河川域を主として田畑や本庄上地域の家屋に大きな被害をもたらしました。伊根町災害ボランティアセンターでは、地域の状況を把握するために役員を先頭に現地確認を行い、伊根町災害対策本部と協議をさせていただきましたが、今回は地域の力で対応されるため災害ボランティアセンター開設要請はされませんでした。そのため、伊根町災害ボランティアセンター運営委員会を開催し現状を説明したうえで、今回は訓練を行い対応が出来るよう伊根町災害ボランティアセンター設置運用訓練を筒川文化センターで開催しました。

高齢者や障害者の皆さんが安心して利用できる福祉サービスを推進していくために「耳のこと何でも相談」、「弁護士無料相談」を設け住民の困りごとに対応しました。また、外出支援体制として「福祉有償運送サービス」を行っていますが、利用者の減少で車両の維持管理と運転手の確保に負担が大きく今後の検討課題となっています。福祉サービス利用援助事業においては、日常の金銭管理支援や福祉サービス利用に関わる援助だけでは解決できない利用者の生活課題に対し、専門員、生活支援員の研修会に参加し資質向上と福祉関係機関の連携を深めました。

各地域の居場所づくりとして「ふれあいサロン」「ふれあいカフェ」「男性サロン」を行い高齢者の閉じこもり予防と見守り活動を行い、併せて「ふれあい給食サービス」事業に参加していただいているボランティアの方々と打合せ会を行うなど、ボランティア会員相互の親睦と信頼関係を深めるためにボランティア交流会を行い地域福祉を支えるボランティア活動のつながりを大切にしてきました。

介護保険事業、障害者福祉サービス（訪問介護や訪問入浴サービス）においては、在宅福祉サービスの充実に努めてきましたが、職員体制と利用者の減少に伴い厳しい状況となっております。

伊根町老人福祉センター「泊泉苑」の指定管理事業では、伊根町特有の温泉を活用してもらうために玄関先に「温泉あります」の幟旗を設置し、高齢者や障害者、地域の方々はもとより、町外の方の利用や温泉クラブの利用拡大と送迎を行い施設利用の向上に努めました。各事業の詳細につきましては、以下のとおりです。

1. 【法人運営】(三役会、理事会、監査会、評議員選任・解任委員会、評議員会)

法人運営の要として、正副会長の月例会議や理事会、監査会、評議員選任・解任委員会、評議員会を開催し、定款変更や規程等の改正、社協の事業進捗状況報告と協議を行いました。

三役会	4月18日	5月11日	6月14日	7月12日	8月22日
	9月12日	10月18日	11月17日	12月13日	1月12日
	1月11日	2月7日	3月7日		
理事会	5月25日	6月14日	11月24日	3月12日	
監査会	5月19日	評議員選任・解任委員会		6月5日	
評議員会	5月14日	3月20日			



【外部監査】

平成 29 年 7 月 19 日	財政援助団体の監査(伊根町監査委員、伊根町会計管理者)
平成 29 年 11 月 16 日	社会福祉法人指導監査(京都府丹後保健所副室長、主査)

2.【地域福祉活動】

①福祉有償運送サービス事業 (外出支援サービス)

介護認定の方や障害者手帳を持っておられる方、不意のケガにより公共交通機関のバス等を利用できない方を対象に、町内の診療所、宮津市、京丹後市、与謝野町の病院への通院を主に、福祉有償運送サービスを実施しました。安全な送迎を行うために、運転手の打合せ会を開催し、宮津警察署朝妻駐在所より道路交通法について研修しました。



福祉有償運行回数実績(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町内	13	16.5	19.5	21	14	15.5	17.5	25.5	14	13	18	17	204.5
町外	4.5	6	9.5	4	5	5	2	4.5	5	4	3	4	56.5
合計	17.5	22.5	29	25	19	20.5	19.5	30	19	17	21	21	261

片道 0.5 回、往復 1 回としてカウント

②福祉資金の貸付

種類	生活費 1 件 (償還済み)
金額	50,000円

③一人暮らし老人の集い(歳末たすけあい配分事業)

日時	平成 29 年 11 月 1 日(水)	
対象者	町内の一人暮らし高齢者 参加者 31 名	※(本人確認にて同意を得た方)
内容	<p>今年は町外へ出かけていく遠足として、府中の籠神社を参拝したあと丹後海陸交通の汽船で宮津棧橋まで乗船し、そこから車で与謝野町岩屋の丹後ちりめん歴史館を見学してきました。</p>	

④伊根町敬老会の共催

日時	平成 29 年 9 月 15 (金) 午前 10 時 45 分
場所	伊根町ほっと館
対象者	昭和 18 年 12 月 31 日までの出生者 640 名が対象 (内:195 名参加)
記念品	伊根町長記念品 (新) 100 歳 1 名、88 歳 26 名 伊根町社会福祉協議会長記念品 16 名
演芸会	伊根保育園、本庄保育所の園児 ものまねショー、太神楽曲芸、漫才「海原はるか・かなた」



⑤保育所園児への卒園祝い品贈呈事業

共同募金運動の配分金事業として、毎年 3 月、保育所の卒園式に合わせて小学校へ入る準備として、筆箱を贈呈いたしました。



伊根保育園 7 名	
本庄保育所 3 名	

⑥社会福祉体験学習

実施日	平成 29 年 8 月 2 日、3 日、4 日の合計 3 日間
参加学校	伊根中学校 (13 名)
受入施設	特別養護老人ホーム 1 名、デイサービス 1 名、おきなぎの家 1 名、伊根の里 1 名、伊根保育園 6 名、本庄保育所 2 名、ホームヘルパー 1 名



⑦福祉協力校(福祉出前講座)

実施日	伊根中学校(平成30年2月1日)
内容	町内の福祉の状況とアイマスク体験、訪問入浴や福祉車両の紹介を行い福祉の理解と推進に努めました。



⑧地域福祉活動計画

伊根町地域福祉計画が平成28年度内に策定されたのを受けて、社協でも地域福祉活動計画について、京都府社協と連携し検討会議を行いました。実施回数3回(9月7日、10月12日、11月22日)



⑨福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)

京都府社協からの委託事業として、認知症の方や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方が、地域で安心して生活を送ることができるよう毎月生活支援員に金銭の支払い管理や福祉サービスの手続きを、地域包括支援センターや在宅介護支援センターと連携し支援活動を行いました。

また、活動上の問題等を調査する機関として権利擁護事業実地調査及び運営監視として京都府福祉サービス運営適正化委員会より調査と支援相談として受けました。また、日々の支援業務に対する支援員研修会へ参加し支援員資質向上に努めるとともに、専門員のブロック別会議にも参加いたしました。

項目	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	合計
利用者、家族、関係 機関との相談回数	248回	0回	1,037回	348回	1,633回
実利用者	2名	0名	3名	2名	7名
登録支援員(男性3名)					

⑩弁護士無料相談

昨今の生活問題について専門機関に相談し、地域の方が安心した生活が送れるよう、弁護士法人たんご法律事務所と契約し、毎月第3火曜日に開催しました。

(相談期間:平成29年4月1日~平成30年3月31日)

内容	相続	生活	仕事	家族	土地	金融	事故	合計
件数	5件	3件	0件	2件	1件	2件	1件	14件

⑪耳のこと何でも相談の開催

耳の検査を受ける機会が無い方を対象に、耳に関する相談検査を行いました。

日 時	平成 30 年 2 月 13 日 (火) 午前 10 時より午後 3 時
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
対象者	町内の耳に関する問題を抱えている方
検査員	舞鶴聴覚言語障害センター職員(言語聴覚士) 与謝郡聴覚言語障害センター職員
相談者	町内の高齢者 3 名



⑫民生児童委員さんとの連携

民生委員さんの各地区集会に参加し社協の活動を説明、福祉活動の理解と協力を求めました。



⑬歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、歳末たすけあい募金活動を行い次のとおり福祉事業を開催しました。

項 目	開 催 日	内 容	
事前検討委員会	平成 29 年 10 月 3 日	行政担当者、民生児童委員協議会長 1 名 常務 4 名、社協理事 6 名、伊根町共同募金会 2 名により、事業内容を検討し利用者と事業の推進に意見交換しました。	
募金配分報告会	平成 30 年 1 月 30 日	上記の検討委員会で協議された内容を、実績で確認し了承していただきました。今後の課題も提案されました。	
★募金総額 555,981 円 (内訳:世帯募金 375,981 円、事業所募金 180,000 円)			

募金をご理解いただいた事業所(敬称略)

おのえ(株)、(株)セレモニーまつだ、丹後海陸交通(株)、(株)油屋、丸谷建設(株)、(株)沢田電気、向井酒造(株)、千原建築(株)、伊根浦漁業(株)、(株)よぎ電工伊根営業所、北都信用金庫伊根支店、宮津地方森林組合、(有)新井崎水産、蒲入水産(有)、(有)奥野興業、共栄商会、上山商会

事業名(対象者)	利用数	内 容	様 子
年末大掃除お助け隊 (70歳以上の高齢者世帯)	14 件	高齢者だけでは手の届かない所や、一人では掃除が出来ない場所を支援するために、利用していただきました。	
年末障子貼りサービス (70歳以上の高齢者世帯)	19 件	気持ちよく新しい年を迎えるために、障子を張り替える作業の支援を行いました。	
重度要介護者支援サービス ①要介護認定3・4・5を受けている方 ②障害者手帳1種1級・2級の方	15 件	常に布団の上で生活を送っている方に年末年始を気持ちよく快適に過ごしていただくため、介護用品をお届けしました。 ①パジャマ、②肌着、③防水シーツの中から1つ選択	
寝具丸洗いサービス ①要介護認定を受けた方 ②障害者手帳1種1級・2級の方 ③70歳以上の高齢者世帯	54 枚	布団の上で生活を送っている方の布団を、雑菌・尿素・脂肪・カビ等を除去し、少しでも快適な生活を過ごしてもらうため行いました。	
歳末買い物サービス (70歳以上の高齢者世帯)	2 名	年末年始に必要な生活用品等の購入の支援として送迎サービスを行いました。(宮津・与謝管内のスーパー及びホームセンター)	
一人暮らし高齢者 年賀状訪問	117 名	町内の小・中学生に協力してもらい年賀状の友愛訪問を行いました。	
サンタクロース友愛訪問		保育園へボランティアさんがサンタクロースに扮して訪問。絵本や園児全員で楽しめる遊具をプレゼントいたしました。	
伊根の里への支援		伊根の里(障害者通所施設)に通っている方への支援を行いました。	

3.【ボランティア活動】

①ふれあい型高齢者給食サービス

一人暮らし老人、高齢者世帯(70歳以上)実施日:第2第4木曜日の昼食として届けます。利用料500円(7月から9月までは食中毒が発生しやすいので、実施はしていません。)

お弁当を作るボランティア、配るボランティアはそれぞれ別々のグループがボランティアとして参加をいただいています。お弁当をもって訪問した先が留守の場合の見守り安否確認に効果が出ていますが、お弁当を作っていたボランティアが3グループと少なくなり、平成30年度においての実施が厳しいのが現状で、ボランティアでの継続は参加者が少ないため負担が大きくなっています。

実施回数12回、685食分(1食500円にて提供)

実施日	給食グループ	利用数	実施日	給食グループ	利用数
5月11日	水仙(蒲入)	61食	11月9日	水仙(蒲入)	55食
5月25日	花水木(本庄浜・上)	60食	11月22日	花水木(本庄浜・上)	57食
6月8日	ひまわり(朝妻)	58食	12月20日	さざんか(リーダー)	65食
6月22日	水仙(蒲入)	56食	2月22日	水仙(蒲入)	54食
10月12日	花水木(本庄浜・上)	58食	3月8日	花水木(本庄浜・上)	56食
10月26日	ひまわり(朝妻)	54食	3月22日	ひまわり(朝妻)	51食



(給食ボランティアリーダー会議)

実施日	平成29年4月4日、9月4日、10月2日、12月1日 延べ32名
場所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内容	給食サービスの需要は多いが、食事作りのボランティアグループが衰退していく中で、今後の給食サービス継続について協議し理解を求める会議を開催しました。
参加者	給食ボランティアリーダー

(給食ボランティア研修会)

実施日	平成 29 年 8 月 24 日 (木)
場 所	川勝総本家 (京都市)
内 容	高齢者の方も一般の方も食べている漬物について、塩分や漬け方等野菜の素材を活かした調理法を学んでもらうよう給食ボランティアの研修を行いました。
参加者	給食ボランティア、副会長、職員 合計 24 名



(配食ボランティアの活動)

お弁当が出来上がると、配食サービスのボランティアにより、町内の一人暮らし高齢者や、高齢者世帯のお宅に、安心見守り活動として届けてもらいました。

(地区別の配食ボランティア登録数)

伊根地区	朝妻地区	本庄地区	筒川地区	合計
8 名	13 名	6 名	8 名	35 名



②ふれあいカフェの開催

実施回数	5 回、延べ 88 名参加
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	伊根町老人福祉センターに利用される方を対象にコーヒーやお茶を飲みながらホッとした時間と年齢に関係なく交流をすることを目的に開催しました。



③ふれあいサロン活動

身近な地域の公民館などを会場に、参加者とボランティアと一緒に企画し、運営していく楽しい仲間づくりの活動を行っています。

サロンスタッフの定例会で、毎回行うサロンのメニューについての打ち合わせや、行政から音楽療法士や転倒予防について指導者を派遣していただきました。

サロン会場	開催数	述参加数	サロン会場	開催数	述参加数
日出地区公民館	11回	109人	野室集会所	7回	48人
新井崎集会所	9回	77人	長延地区公民館	10回	87人
泊地区公民館	10回	67人	蒲入集会所	9回	101人
宇治地区公民館	9回	62人	筒川上地区公民館	11回	101人



(ふれあいサロンスタッフ打合せ会)

実施日	毎月第2火曜日 10回開催 述べ89名のスタッフが打合せ
場所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内容	毎月各地域で開催しているサロン活動の内容についてお互い相談し、時には、包括支援センターの職員さんも同席しそれぞれの地域の活動を周知していただきました。

④男性サロンの開催

実施日	毎月第3木曜日 9回開催 述べ114名参加
場所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内容	一人暮らしの男性を対象に、毎月第3木曜日に開催し、音楽を取り入れた体操、フラワーアレンジメント、皆で昼ごはんづくりに取り組みお互いの交流を深めています。また、与謝野町の男性サロングループとの交流を交え、閉じこもりを防ぎ心と体の健康になっていることを再確認しました。



⑤ ボランティアリーダー会議

年間のボランティア活動や今後の計画について話し合いました。

開催日	平成 29 年 7 月 14 日、10 月 6 日 (場所)伊根町老人福祉センター
内 容	ボランティアグループの連携を図り、各グループ活動の資質向上と情報交換に開催しました。(研修会の日程調整、ボランティア交流会の協議等)
参加者	各ボランティアグループの代表者 15 名



⑥ 伊根町ボランティア交流会

開催日	平成 29 年 10 月 18 日(水) (場所)伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	社協に登録しているボランティアの方々がお互いの活動の粋を超えて参加者同士の交流を目的に開催。午前の部はボランティアグループ「さくらの会」より琴の演奏、昼食は給食サービスボランティア「さざんか」のお弁当。午後の部は弁護士法人たんご法律事務所代表「藤居弘之氏」に行列の出来る法律相談として「相続・財産」について講演していただきました。
参加者	社協に登録しているボランティア 74 名



⑦ 企業ボランティア活動

開催日	平成 29 年 6 月 11 日、8 月 24 日
場 所	伊根町内の一人暮らし高齢者宅
内 容	京都建築労働組合伊根支部、京都府電気工事工業組合宮津支部橋北班の会員様より一人暮らし老人宅への友愛訪問として、家屋の点検や電気配線無料点検を行っていただきました。
参加企業	京都建築労働組合伊根支部 8 名、京都府電気工事工業組合宮津支部橋北班 10 名



⑧登録して活動して頂いているボランティアグループ一覧

(敬称略、順不同)

No.	グループ名	代表者	活動内容
1	ひまわり会	池本 弥生	ふれあい給食サービスづくり活動
2	水仙グループ	泉 敦子	ふれあい給食サービスづくり活動
3	花水木	矢野 鈴江	ふれあい給食サービスづくり活動
4	配食グループ	池本 利徳	社協のお弁当配達と見守り訪問活動
5	喫茶グループ	上野 美佐子	福祉施設内での喫茶店として活動
6	喫茶グループ	鈴木 久子	福祉施設内での喫茶店として活動
7	ふれあいサロン	三野 千恵子	地域の高齢者との生きがい活動
8	男性サロン	田中 太市	一人暮らし高齢者男性のサロン活動
9	子育てサロン	上林 紀子	幼児と保護者との交流活動
10	ぶちとまと	上山 範子	影絵を上映しながら訪問活動
11	民生児童委員協議会	倉 真由美	福祉施設への訪問活動と地域サロン
12	野菊の会	涌田 優美子	大正琴グループにて訪問活動
13	みどり会	下垣 松美	福祉施設への介助ボランティア
14	すみれの会	倉 貴美代	福祉施設への訪問活動
15	傾聴ボランティア	藤原 公栄	主に高齢者宅へ訪問し話相手活動
16	朝妻婦人会	入柿 さつき	福祉施設への訪問活動
17	ピーターパン	向井 文子	人形劇活動と児童との交流
18	さくらの会	芦原 サカ江	福祉施設への訪問活動
19	朝妻青年会	上岡 裕一	福祉施設への清掃活動
20	移送サービス	前野 耕一	運転手によるボランティア活動
21	青島歌踊会	永野 和江	カラオケ同好会にて施設訪問
22	くれを会	山田 久義	カラオケ同好会として福祉施設訪問
23	うぐいす	上辻 みち代	カラオケ同好会として福祉施設訪問
24	かもめ	和久田 哲子	カラオケ同好会として福祉施設訪問
25	ふれあいカフェ	井上 美佐子	カフェを利用される方とのふれあい活動

⑨災害ボランティアセンター運営委員会

期 間	平成 29 年 9 月 27 日 参加者 15 名
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	伊根町災害ボランティアセンター運営委員会委員 11 名、府災害ボラ 2 名、事務局 3 名平成 28 年度に視察に行った向日市での訓練の報告と、9 月 18 日に起きた台風 18 号災害の被災状況の様子を報告するとともに、災害ボランティアセンターの設置運用訓練について協議しました。



⑩伊根町災害ボランティアセンター設置運用訓練

期 間	平成 30 年 2 月 25 日(日)午前 8 時 45 分から午前 11 時 40 分
場 所	伊根町立筒川文化センター体育館
参加者	筒川地区区長会 6 名、伊根町民生児童委員協議会(常務 3 名、筒川地区 3 名)、災害ボランティアセンター運営委員 8 名、筒川駐在所 1 名、京都府社協 1 名、京都府災害ボランティアセンター 1 名、宮津市社協 4 名、京丹後市社協 3 名、与謝野町社協 4 名、伊根町社協 7 名の合計 41 名
設置運用訓練までの経過	<p>2 月 6 日災害ボランティアセンター設置運用訓練職員打合せ会 2 月 7 日災害ボランティアセンター設置運用訓練役職員打合せ会 2 月 15 日災害ボランティアセンター設置運用訓練職員打合せ会(夜間) 2 月 19 日災害ボランティアセンター設置運用訓練職員打合せ会(夜間) 2 月 21 日災害ボランティアセンター設置運用訓練役職員打合せ会 2 月 23 日災害ボランティアセンター設置運用訓練役職員準備</p>
内 容	<p>大型台風の豪雨により筒川地区の府道、町道やその周辺地域の民家が被害を受けたという想定で、筒川文化センター体育館を使用し以下の流れにそって開催しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①災害ボランティアセンターの機能紹介(デモンストレーション) ②社協職員で「寸劇」を行い、訪問困りごと(ニーズ)調査を紹介 ③訓練開始(ボランティア受付、ボランティア派遣先の調整、資材・送迎班、災害ニーズ受付を参加者全員で行った) ④訓練終了(非常食を試食しながらグループ班で反省会、アンケート記入、全体会で発表) <p><アンケートのまとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・何でも経験が大切だと思いました、今後に生かしたいと思います。 ・災害ボランティアの流れや、寸劇、仕組みはよい勉強でした。

・各地域で訓練などが行えるように、今回のようなシュミレーションを行っておくことが大切だと感じました。災害にもし見舞われた時のイメージができると感じました。徐々に関係者から住民でおこなう様になれば良いと思います。

・非常食・非常備品は各地域にある程度、ストック出来る様にしてほしい。



⑪2 市2町丹後ブロック災害ボランティアセンター担当者会議

期 間	平成 29 年 4 月 11 日 参加者 10 名
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の災害ボランティアの担当者会議を開催。北部の災害が発生した時の対応について協議しました。



4.【介護保険事業・障害者総合支援事業】

①ホームヘルパー研修会

年々多様化する介護課題において事例検討会や介護技術の向上に向けてヘルパー研修会を開催すると共に、福祉関係機関との連携について学びました。



②訪問介護サービス(介護保険事業)

要介護認定の方が在宅生活する上で、介護が必要な方や日常生活にお困りの方へ、ホームヘルパーの派遣を行いました。活動時間や利用者は以下のとおりです。

(介護度別利用者数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援2	4	4	4	3	3	3	3	2	0	0	0	0	26
介護1	8	8	8	10	8	9	9	6	4	5	5	6	86
介護2	9	9	7	7	7	7	7	8	9	8	8	8	94
介護3	4	4	5	4	5	4	4	3	4	3	3	6	49
介護4	3	3	4	4	3	3	3	3	4	2	2	2	36
介護5	2	1	2	3	4	3	3	2	3	2	2	2	29
総合事業	1	1	3	6	6	6	6	7	8	8	8	9	69
合計	31	30	33	38	36	35	35	31	32	28	28	33	390

(月間活動時間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	38	56	62	81	77	77	94	90	52	36	36	71	770
身体生活	62	74	86	81	76	70	72	57	29	16	16	31	670
生活援助	153	132	131	133	117	143	125	106	88	85	85	108	1,406
介護予防	17	20	21	16	14	16	15	6	0	0	0	0	125
総合事業	5	6	14	31	29	27	29	30	39	32	38	51	331
訪問入浴	39	39	42	51	60	39	54	69	42	61	60	39	595
障害者	64	71	73	57	58	59	62	69	102	90	44	36	785
合計	378	398	429	450	431	431	451	427	352	320	279	336	4,682

③訪問入浴サービス(介護保険事業)

(利用者実人数 単位:人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	3	3	3	4	4	3	5	5	4	6	6	5	51

④身体障害者福祉サービス(訪問介護)

障害者へのホームヘルパー派遣事業は、障害者生活支援センターや聴覚障害センター関係者との連携を密に行い、利用者への派遣計画を作成し、本人の要望に合ったサービスの提供を行いました。
(利用者実人数 単位:人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	5	6	6	4	5	6	5	6	8	7	7	6	71

5.【伊根町老人福祉センター「泊泉苑」指定管理事業】

①温泉利用者の拡充

期 間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
内 容	利用しやすい施設運営を目指して、温泉啓発用チラシを舟屋の里に掲示してもらおうと共に、施設内の劣化を防ぐため脱衣所の転倒防止マットの改修と施設周辺の草刈り、ゲートボール場等ヘイノシシ対策として侵入範囲に鉄柵を設置しました。



②温泉クラブ無料送迎事業

期 間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	町内の高齢者の皆さんに、温泉活用で健康増進を図ってもらうため、自分たちでグループを作り利用していただくと共に利用回数の増加に努めました。

③温泉クラブの利用状況は以下のとおりです。

月	回数	人数	月	回数	人数	月	回数	人数
4月	6回	40名	8月	4回	26名	12月	7回	42名
5月	5回	37名	9月	5回	32名	1月	5回	33名
6月	4回	25名	10月	6回	24名	2月	3回	19名
7月	5回	29名	11月	5回	27名	3月	4回	24名
利用合計 57 回						総利用数 358 名		

伊根温泉クラブ	かもめ温泉クラブ	本庄上・宇治温泉クラブ	本庄浜温泉クラブ
うくいす温泉クラブ	※買い物支援はJAコープ、にしがき等 39回		



6.【宮津・与謝地方社会福祉協議会広域事業】

①宮津与謝地方社会福祉協議会チャリティーゴルフ大会開催

開催日	平成 29 年 11 月 19 日(日)午前 7 時 30 分スタート
場 所	宮津カントリークラブ
内 容	スポーツを通じて地域の社会福祉活動に支援を行っていただきました。
参加者	今回は選挙投票日と重なり出席者が合計 25 名と少数でしたが チャリティーゴルフより伊根町社協へ 18,000 円寄付を頂きました。

7.【その他の福祉活動】

①第 66 回京都府社会福祉大会

開催日	平成 29 年 9 月 5 日(火) 場所:京都府民総合交流プラザ
表彰内容	①京都府社会福祉協議会長表彰 <民生児童委員特別功労者> ・今岡敏枝 ・上辻治代
内 容	

②きょうと健康づくり実践企業認定に取り組む

期 間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
内 容	京都府が推奨する、「きょうと健康づくり実践企業認証制度」として福祉現場で働く職員に対して労働安全衛生法に基づく健康診断を実施しており、40歳以上の常勤職員の健康診断の結果について、特定健診・特定保健指導法定報告に必要な項目を医療保険者へ提供すると共に、がん検診受診率向上や職員の健康づくりに取り組みました



8.【伊根町社会福祉協議会役職員の状況】

【役員状況】

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

会 長	上 林 聡	副会長	前野 耕一	副会長	一井 京一
-----	-------	-----	-------	-----	-------

【職員状況】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事 務 局 長	佐 藤 龍 平	訪 問 入 浴 看 護 師	小 南 照 美
総 務 係 長	奥 野 み どり	登 録 ヘルパー	和 田 い そ 子
福祉係長・訪問介護員	矢 野 智 樹	登 録 ヘルパー	藤 原 公 栄
総 務 係 主 事	井 上 健 太	登 録 ヘルパー	尾 谷 敬 子
福祉係主事・訪問介護員	森 下 真 美	登 録 ヘルパー	小 南 千 代 乃
総 務 係 嘱 託	矢 野 英 子	登 録 ヘルパー	今 岡 敏 枝
権利擁護事業生活支援員 福祉有償運転手	田 中 太 市	登 録 ヘルパー	平 岡 由 美 子
権利擁護事業生活支援員	三 野 正 巳	登 録 ヘルパー	山 崎 和 代
権利擁護事業生活支援員	難 波 壽 和	登 録 ヘルパー	大 上 和 子
福祉有償運転手	石 倉 義 昭	登 録 ヘルパー	白 須 康 子
福祉有償運転手	前 野 耕 一	登 録 ヘルパー	小 南 厚 子
福祉有償運転手	下 垣 哲 夫	登 録 ヘルパー	岡 照 美
福祉有償運転手	太 田 巖	登 録 ヘルパー	佐 藤 ヒ ロ 子
訪 問 入 浴 看 護 師	濱 野 ト シ 子	登 録 ヘルパー	上 岡 正 代
訪 問 入 浴 看 護 師	谷 水 節 子	登 録 ヘルパー	三 野 咲 子

伊根町社会福祉協議会のホームページ <http://ine-shakyo.jp/>

伊根町社会福祉協議会資金収支計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(B)-(A)	備考
事業活動による収支	収 入				
	171 会費収入	1,850,000	1,849,000	△1,000	
	173 寄附金収入	2,488,000	2,500,000	12,000	
	174 経常経費補助金収入	17,367,000	17,380,684	13,684	
	175 助成金収入	66,000	77,677	11,677	
	176 受託金収入	7,546,000	7,547,558	1,558	
	177 貸付事業収入	8,000	50,000	42,000	
	178 事業収入	1,412,000	1,424,410	12,410	
	180 介護保険事業収入	15,384,000	15,799,777	415,777	
	185 障害福祉サービス事業収入	3,086,000	3,065,420	△20,580	
	190 受取利息配当金収入	54,000	50,854	△3,146	
	191 その他の収入	80,000	62,310	△17,690	
	事業活動収入計(1)	49,341,000	49,807,690	466,690	
	支 出				
	111 人件費支出	36,514,000	36,581,470	67,470	
	112 事業費支出	7,613,000	7,358,492	△254,508	
	113 事務費支出	6,467,000	6,399,347	△67,653	
	116 助成金支出	556,000	552,697	△3,303	
117 負担金支出	162,000	158,200	△3,800		
118 その他の支出	33,000	33,460	460		
事業活動支出計(2)	51,345,000	51,083,666	△261,334		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,004,000	△1,275,976	728,024		
施設整備等による収支	収 入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支 出				
	120 固定資産取得支出	108,000	108,000	0	
施設整備等支出計(5)	108,000	108,000	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△108,000	△108,000	0		
その他の活動による収支	収 入				
	202 基金積立資産取崩収入	58,300,000	57,599,803	△700,197	
	213 その他の活動による収入	1,361,000	1,360,700	△300	
	その他の活動収入計(7)	59,661,000	58,960,503	△700,497	
	支 出				
	126 長期貸付金支出	50,000	50,000	0	
	127 基金積立資産支出	55,746,000	55,799,826	53,826	
	128 積立資産支出	1,000	82	△918	
	138 その他の活動による支出	1,556,000	1,555,080	△920	
	その他の活動支出計(8)	57,353,000	57,404,988	51,988	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,308,000	1,555,515	△752,485		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	196,000	171,539	△24,461		
前期末支払資金残高(12)	9,917,000	9,917,839	839		
当期末支払資金残高(11)+(12)	10,113,000	10,089,378	△23,622		

伊根町社会福祉協議会事業活動計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収	007 障害福祉サービス事業収益	3,065,420	2,267,983	797,437
	益	063 会費収益	1,849,000	1,902,892	△53,892
		065 寄附金収益	2,500,000	1,404,000	1,096,000
		066 経常経費補助金収益	17,380,684	17,904,346	△523,662
		067 助成金収入	77,677	1,500	76,177
		068 受託金収益	7,547,558	7,598,500	△50,942
		070 事業収益	1,424,410	1,646,870	△222,460
		071 介護保険事業収益	15,799,777	17,059,912	△1,260,135
		073 その他の収益	0	5,114,830	△5,114,830
		サービス活動収益計(1)	49,644,526	54,900,833	△5,256,307
	費	021 人件費	36,775,932	44,713,509	△7,937,577
	用	022 事業費	7,358,492	8,245,789	△887,297
		026 助成金費用	552,697	558,746	△6,049
		027 負担金費用	158,200	169,900	△11,700
		028 減価償却費	1,119,440	1,167,332	△47,892
	029 国庫補助金等特別積立金取崩額	△245,250	△245,250	0	
	031 その他の費用	33,460	0	33,460	
	サービス活動費用計(2)	52,152,318	60,728,652	△8,576,334	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△2,507,792	△5,827,819	3,320,027	
サービス活動外増減の部	収	074 受取利息配当金収益	50,854	94,583	△43,729
	益	076 その他のサービス活動外収益	62,310	108,818	△46,508
		サービス活動外収益計(4)	113,164	203,401	△90,237
費					
用	サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	113,164	203,401	△90,237	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△2,394,628	△5,624,418	3,229,790	
特別増減の部	収	086 その他の特別収益	0	10,000	△10,000
	益	特別収益計(8)	0	10,000	△10,000
	費	035 固定資産売却損・処分損	53,646	0	53,646
	用	特別費用計(9)	53,646	0	53,646
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△53,646	10,000	△63,646	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△2,448,274	△5,614,418	3,166,144	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	12,734,750	18,164,498	△5,429,748
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	10,286,476	12,550,080	△2,263,604
		083 基本金取崩額(14)	0	0	0
		084 基金取崩額(15)	1,799,977	184,670	1,615,307
		085 その他積立金取崩額(16)	0	0	0
		045 退職手当積立基金預け金費用(17)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	12,086,453	12,734,750	△648,297

伊根町社会福祉協議会貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)


資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
001 流動資産	13,171,801	011 流動負債	3,082,423
01 現金預金	9,553,171	03 その他の未払金	3,013,135
01 現金	50,000	01 未払金	3,013,135
02 預貯金	9,503,171	10 職員預り金	69,288
04 未収金	3,201,630	02 雇用保険	69,288
05 未収補助金	417,000		
002 固定資産	79,675,160	012 固定負債	23,212,957
001 基本財産	1,000,000	04 退職給付引当金	23,212,957
03 京銀(定期預金)	1,000,000	負債の部合計	26,295,380
002 その他の固定資産	78,675,160	純資産の部	
02 建物	1	013 基本金	1,000,000
05 車輛運搬具	495,825	01 第一号基本金	1,000,000
06 器具及び備品	424,110	014 基金	54,221,315
10 ソフトウェア	320,952	01 福祉基金	22,087,769
15 退職手当積立基金預け金	22,390,170	02 ボランティア基金	32,133,546
21 退職積立預金	822,787	015 国庫補助金等特別積立金	△756,187
22 福祉基金積立預金	22,087,769	017 次期繰越活動増減差額	12,086,453
01 北都(定期預金)	17,500,000	02 (うち当期活動増減差額)	△2,448,274
02 JA(定期預金)	0		
03 京銀(定期預金)	1,000,000		
04 北都 0010292	3,587,769		
23 ボランティア基金積立預金	32,133,546		
01 北都(定期預金)	0		
03 信漁(定期預金)	31,749,803		
04 北都 0089522	16,043		
05 JA 1370304	367,700	純資産の部合計	66,551,581
資産の部合計	92,846,961	負債及び純資産の部合計	92,846,961


監査報告書

平成30年5月23日

社会福祉法人伊根町社会福祉協議会

会長 上林 聰 様

監事 泉 敏夫 

監事 山崎 聡 

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上